

会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 21 年 6 月 26 日(金曜日)	開催時刻	15 時 10 分から 15 時 32 分
会議名	丸子地域協議会(平成 21 年度第 3 回)		
出席委員	浅倉委員、生田委員、片桐委員、木下委員、倉沢委員、甲田委員、滝沢(俊)委員、滝沢浩委員、武井委員、竹花委員、土屋委員、成澤(啓)委員、本間委員、宮坂委員 【欠席】大森委員、笹井委員、笹沢委員、成澤(み)委員、村松委員、柳原委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、佐藤センター次長兼地域振興課長、大平地域政策担当係長、中村地域政策担当		

会議次第

現地視察・・・午後 1 時 30 分 丸子地域自治センター玄関前集合

・別紙資料

地域協議会・・・現地視察終了後、鹿教湯温泉交流センター

1 開会(佐藤センター次長)

2 会長あいさつ(片桐会長)

皆さん暑い中の現地視察大変ご苦労様でした。今回は、昨年今年と一番応募の多かった内村流域の事業を主に現地視察しました。それぞれ皆さん真剣に取り組み、地域事業が着々と進んでおられるように見受けられました。大きな成果が上がることを期待します。これから調査研究事項について協議していただきます。よろしくお願いいたします。

3. 調査研究事項について

(1) 「地域全体の発展策・地域予算の活用法」について(事務局)

・地域予算をどう使っていくか地域協議会の大きな課題。合併当初 4 億 9 千万円の持寄分基金を使い、どのように地域づくりをしていくのかを地域協議会で集中してご審議いただきたい。先程見ていただいた、霊泉寺温泉の活性化・再開発、大塩温泉にある陽寿荘・大塩館の跡地の有効活用を計って、地域の活性化につなげられないか。鹿教湯温泉地の廃業旅館の跡地等の対応についても地域協議会で議論いただきたい。色々な発案・提案をいただきながら一つの形にまとめて、できれば第一次総合計画が最終年度となる平成 27 年度までの 7 年間で、年度毎にとり組むべき課題、他の地区でも地域において解決しなければならない課題もあるが、地域予算をどう配分していけば良いか議論をいただきたい。

主な意見等

(委員) 地域予算が消化しきれないと、その予算はどうなるか。

(事務局) 地域予算の持寄分基金はあくまでこの地域で消化していく、上田市第一次総合計画の終了年平成 27 年までの消化を目指し、第二次総合計画をつくる時には旧市町村の独自予算がない状態での計画付け予算付けが良いのではないかと。地域の中でとり組める貴

重なる財源なので、7年間の間にできるだけ消化を考えていきたい。

(委員) 内村の事業でもいろいろと費用がかかると思うが具体的な数字は。

(事務局) 今日見ていただいたところは、地域予算を使った事業付けにはなっていない。今年度の予算では、ファーストビル・文化センターの改修に地域予算を使ってやっていく。それも、全て持ち寄り基金を取り崩すのではなく、市全体に関わり点もあることから、一般財源も投入して事業付けをしている。今後、今日見ていただいた地域に予算を使うにしても、全額地域予算を充当するのか、それとも全市に共通する課題付けの中で、一般財源の投入も考えられる。国・県補助金を利用する事業も考えられるので、100%地域予算を充当するのではなく、むしろ他の財源を求めながら大切に財源として使ったらどうかという考え。

(会長) 今後の地域予算の活用法について、今後皆さんのご意見をいただきながら検討していきたい。

(2) 「地域協議会の役割の強化策」について(事務局)

(会長) 地域協議会の役割強化策について、委員から専門委員会等を作って検討していったらどうかという提案。皆さんのご意見をいただきながら方向性を出していきたい。

(事務局) 合併に際し地域内分権を実行していく立場において地域協議会が設置された経過があるが、今後、この地域協議会をどう運営していくのか、取り上げていくべき課題はどこにあるのかということ意見を交換していただきたい。

(会長) 来年度任期が終わるが、手探りの状況といつまでも言っているわけにもいかない。協議会の存続も含めて、地域の役割強化策等も皆さんで話しあっていただきたい。私としては、二つくらいの分科会に分かれ、それぞれまとめていただきたい。次回の協議会から。

(事務局) 次回から分科会という会長からのご指示ですが、委員構成は事務局にご一任いただいでよろしいか。二つに分けてということだがよろしいか。

- 委員から「良いです」という声あり

(事務局) 強化策、存続も含めての分科会になるので、数回繰り返して議論をいただきたい。今年度で2年目の任期が終わるが、次の協議会にどういう形で引き継いでいくかに関すること。

資料：地域協議会の機能強化について

主な意見等

(委員) 存続か廃止かというのは、地域協議会で勝手に決めて通るのか。

(会長) 地域協議会は母袋市長が合併の目玉として条例で作ったもの。丸子地域協議会の廃止を決めるのではなく、今まで4年間取り組んできたものを総括して、協議会のありかた等を丸子地域協議会の意見として、母袋市長のところへ意見書として出せばどうか。年内にまとめたい。

上田地域は地域協議会が必要ないのではないかという意見が多くある。自治会連合会の組織がしっかりしているから、地域協議会の不要論が出てくるという印象。上田には最初か

ら必要ないという意見がある。

(委員) 上田市自治会連合会は月 1 回定例会議をしているが、まとまっていると思えない。

(会長) 自治会連合会と地域協議会の役割分担がはっきりしていないから、今まであった自治会の方が強い印象を受ける。その点も含めて分科会で検討していただきたい。

決定事項等

- ・地域協議会のあり方等について、2 つの分科会で分かれて検討していく。分科会の委員構成は事務局に一任。

(3) その他

- ・カネボウ跡地の旧食堂棟の活用について

(課長) カネボウ跡地の旧食堂棟の活用については専門委員を募集して進めていくが、使い方の一つとして、カネボウが使っていた「オート三輪車消防車」復活プロジェクトが始まっている。6月27日(土)午後6時からエンジン始動試験を公開実施する。ご見学をいただきたい。タイヤからハンドル等一つ一つ外して骨組みの状態になっている段階。

4. その他

- ・今後の日程について

- ・次回地域協議会の日程

7月24日(金曜日)午後13時30分から

(委員) 皆さん忙しい中出席している。都合の悪い人は仕方がないが、年間の日程があれば良い。そのほうがお互いに調整もできる。

(事務局) 基本的には20日近辺の金曜日にやってきたが、その原則をふまえて、今後の日程をお知らせしていきたい。

決定事項等

- ・次回、これからの地域協議会会議日程をお知らせする。

その他

- ・わがまち魅力アップ応援事業のイベント情報提供(別紙資料)

ホームページに掲載し更新していくのでご覧いただきたい。

- ・依田川リバーフロント市民協働事業について

第1回実行委員会準備会を6月29日(月)午後1時30分から開催予定。成澤委員ほか5名に出席依頼している。

5. 閉会